



生駒市の職員数は、01(H13)年4月1日現在で1025人であったのが、定員適正化計画が進められることで、今年4月1日現在では819人となり、同計画の最終年度である来年度には800人となる予定です。

一方、生駒市議会の議員の定数は、01(H13)年6月に条例で24人と定められて以来変わっていません。市職員の定員適正化が進む中で、議員の定数は不変であることで、市民の間からは絶えず「議員定数の適正化も行うべきではないか」との声が上がり続けています。

そこで、今回、議員の適正数はいくらかなど、議員定数について皆で考えるための討論・学習会を企画いたしました。多くの方々のご参加をお待ちいたしております。

<下に、今回の討論・学習会においても使用いたします、議員定数について考える際の参考資料の1つである「生駒市とその類似団体の議員定数等」を載せております。ご参考にしていただければ幸いです。>

類似団体とは、国勢調査をもとにした人口と産業構造（産業別就業人口の比率）によって市町村を分類し、同じ分類となった全国の市町村のことで、人口と産業構造が類似していることで、政策立案等の際に最も参考になる市町村のことです。生駒市の類似団体は現在、生駒市を含めて8市です。



<参考資料>

生駒市とその類似団体		議員定数	常任委員会<議会審議の中心組織>	
			数	委員会名 ( ) 内は定員
北海道	小樽市	25	4	<略>
東京都	青梅市	24	4	<略>
神奈川県	海老名市	22	3	総務(8) / 文教社会(7) / 経済建設(7)
岐阜県	多治見市	24	3	総務(8) / 厚生環境教育(8) / 経済建設(8)
静岡県	三島市	22	3	総務(8) / 福祉教育(7) / 経済建設(7)
奈良県	生駒市	24	4	企画総務(6) / 市民文教(6) / 厚生消防(6) / 都市建設(6)
福岡県	飯塚市	28	4	<略>
	春日市	20	3	総務文教(8) / 市民厚生(6) / 地域建設(6)